

平成26年度 節電の取り組みについて

本市では、環境マネジメントシステム（環境レムズ）に則り、省エネルギー・節電を継続して進めています。

今年度の電力に関しては、昨年度のような供給不足は見込まれていないものの、引き続き節電への取り組みが求められております。

また、昨年は自由化分野（高圧受電施設）において平均17.26%、規制分野（低圧受電施設）における平均9.75%の電気料金の値上げが実施されたが、今年度においても、火力発電の燃料費高騰により、再値上げを示唆する動きが出てきています。

よって、こうしたことに鑑み、今年度も節電への取り組みを一層進めてまいります。

記

1 今年度の節電目標

以下の項目を節電目標と設定します。

夏季（平成26年6月1日から10月31日まで）においては、全体使用電力「対平成22年度同月比11%減」とし、本年度通年の取り組みとして、全体使用電力「対平成22年度比8%減」とする。

なお、冬季においては関西電力株式会社からの需給見通しに即して、目標を別途設定する。

2 具体的な節電の取り組み

以下の項目を節電に向けて取り組みます。

(1) 事務所及び廊下等の照明の間引き、使用に応じた点灯・消灯

◇ 執務時間外及び昼休みの時間は、来庁者に迷惑をかけない範囲もしくは必要のない箇所は消灯する。

◇ 業務に支障のない範囲で健康面に配慮し、照明の間引きおよび消灯（天候により業務に支障のない場合は、窓側の照明を消灯する。）を行う。（会議室を含む。）

◇ 事務所等の電気（照明）の消灯については、課もしくは係単位内でチェックを行う。また、最後の退庁者は、必ず電気（照明）の消灯をチェックする。

◇ 公共施設の照明をLED化へ随時更新する。

(2) パソコンの電源 等

◇ 勤務中の長時間離席時にパソコンの電源を落とす。

◇ 会議や現場等で長時間席を離れるときは電源を落とす。

- ◇ パソコンの省エネモード設定を徹底する。
- ◇ 執務時間外は、業務に必要がない限り電源を落とすか、パソコンの蓋を閉める（サスペンド状態）。
- ◇ 帰宅時及び休日前は、コンセントを抜いて退庁する。
- ◇ その他、電気を使用する機器（財務会計端末機・コピー機・プリンタ等を含む。）についても、パソコンと同様な節電対策を行う。

(3) 会議室の電気（照明）

- ◇ 会議開始5分前までは点灯しない。また、終了後は参加者に迷惑をかけない範囲で直ちに消灯する。

(4) 空調（冷房、暖房）

- ◇ 会議開始10分前までは使用しない。また、終了後は参加者に迷惑をかけない範囲で直ちに止める。
- ◇ 室内の設定温度（冷房28℃、暖房18℃）を厳守して使用する。
- ◇ 執務室、会議室等は使用時以外の空調スイッチの入切を徹底する。

(5) その他

- ◇ 個人所有の扇風機、ファンヒーター・ストーブ等の機器は使用しない。
※やむを得ず使用する場合は、財政課の許可を受けること。
- ◇ エレベーターの利用は、必要な場合に限る。
- ◇ 冬季にあっては、灯油等を活用した広域的な暖房機器の設置を行う。
- ◇ 毎週水曜日のノー残業デー（庁舎内）を徹底する。
- ◇ すだれ、ゴーヤカーテンの利活用、ブラインドやカーテンの適切な調整により、遮熱や保温をはかる。
- ◇ 夜間における執務点灯部分の照明を最小限にする。
- ◇ 各施設（指定管理者施設を含む。）における電気使用契約の見直しを行う。
- ◇ 軽装勤務実施期間の徹底（平成26年5月24日から10月31日まで）
- ◇ 夏季集中休暇の実施 等

※高圧契約の施設については、電気料金体系の契約電力が当該月と前月の最大需要電力〈デマンド〉のいずれか高い値になるため、当該数値をいかにして抑制するかが、使用電力抑制とともに重要になってきます。

デマンドメーターを設置していない施設にあつては、時間をずらして空調のスイッチを入れる等、負荷電力の高い設備の使用方法について工夫することにより電気料金を抑制することが可能です。

年度別使用電力量実績(電気)

(ISO14001 認証取得時の認証サイトベース)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
庁舎	961,677	958,636	958,105	860,817	823,677	861,032	kwh
全体	12,875,707	12,244,089	12,521,833	11,879,759	11,593,467	11,720,340	kwh
対前年度比(庁舎)	-4.8%	-0.3%	-0.1%	-10.2%	-4.3%	4.5%	
対前年度比(全体)	-4.2%	-4.9%	2.3%	-5.1%	-2.4%	1.1%	
対平成23年度比(庁舎)						0.02%	
対平成23年度比(全体)						-1.3%	
対平成22年度比(庁舎)				-10.2%	-14.0%	-10.1%	
対平成22年度比(全体)				-5.1%	-7.4%	-6.4%	25年度目標値 -8%

夏季使用電力量実績(電気) (ISO14001 認証取得時の認証サイトベース)

各年度6月～10月期比較

	22年度	23年度	24年度	25年度	→平成25年6月～10月
庁舎	467,054	401,860	360,208	410,796	kwh
全体	5,540,800	5,191,620	4,911,575	5,110,017	kwh
対前年度比(庁舎)		-14.0%	-10.4%	14.0%	
対前年度比(全体)		-6.3%	-5.4%	4.0%	
対平成23年度比(庁舎)				2.2%	
対平成23年度比(全体)				-1.6%	
対平成22年度比(庁舎)		-14.0%	-22.9%	-12.0%	25年度目標値 -15%
対平成22年度比(全体)		-6.3%	-11.4%	-7.8%	